

# 令和5年度 学校関係者評価委員会

小松島市 立江小学校

1 期日 令和6年2月28日（水） 14:00～

2 場所 立江小学校 校長室

3 出席者

【学校関係評価委員】 5名（立江小学校学校運営協議会委員）

立江協議会会長 池渕 彰 様

立江公民館館長 垂水 明 様

祇園囃子伝承教室会長 森本 利雄 様

民生委員児童委員 江崎 敬 様

しらさぎ育成会代表者 江西憲太郎 様

【学校職員】 2名

校長 高原 俊英

教頭 瀬野 俊恵

4 進行次第

- (1) 学校長あいさつ
- (2) 学校評価結果の説明
- (3) 意見交換

5 協議内容(委員からの主なご意見)

- (1) 統計として分母が小さいので、評価結果について一喜一憂することはない。
- (2) 次年度に向けての方策を示されたが、全て何もかもできないので、重点化して取り組んでほしい。
- (3) 読書について
  - ①環境面で特に毎年新しい本を購入しているか？  
→市からの予算(10万9千円)に合わせて、児童が読みたい本や教師が読ませたい本、学習に役立つ本等購入している。
  - ②公民館ができれば、移動図書館も積極的に活用してほしい。
  - ③学校の宿題(音読)は、あくまで読む練習であって、「読みたい」よりも「読まされている」の意識が強い。
  - ④数字には表れていないが、しっかり取り組んでいる印象はある。
  - ⑤昔は紙芝居から始まって読書に親しんできたが、今はメディアの発達に伴って活字離れはどこの学校の児童も課題となっているのでは。
- (4) 質問できない児童は、質問することが恥ずかしいのだろう。いつでもどの先生にでも質問できるような環境づくりが必要。また、気軽に質問できる先生の雰囲気も大切である。  
→質問できない原因は様々なパターンがあるが、いずれにしても授業内容や形態の工夫に努め、保護者とも連携しながら分からないことをそのままにしない体制を整えたい。